

こんな火災をなくそう！（放火火災編）

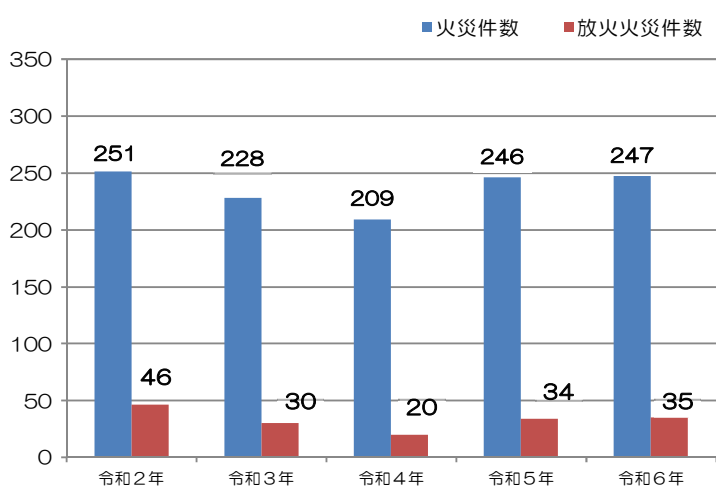
令和6年に仙台市内で発生した247件の火災のうち、「放火火災」は35件で、全火災の14.2%を占めています。

仙台市内における、過去5年間（令和2年～令和6年）の「放火火災」の件数を見てみると、平均で1年間に約33件発生しています。

鍵のかかっていない物置やごみ置き場のごみ、公園や空き地の下草などに放火されることが多く、「放火火災」を防止するためには、「放火をさせない環境づくり」が重要です！

防火のポイントを参考に「放火させない環境づくり」に取り組みましょう！

火災件数及び放火火災件数



※放火火災件数には、「放火の疑い」も含む

放火による火災事例

排出ルールを守らずに捨てられたごみに放火されました。



放火による火災事例2



屋外に駐輪していた自転車の自転車カバーに放火されました。

防火のポイント！

- ・ごみは決められた曜日、時間に出すようにしましょう。
- ・アパート・マンションの共用部分や、家の周りにはダンボールや雑誌などの燃えやすい物は置かないようにしましょう。
- ・物置には必ず鍵をかけましょう。
- ・自転車やバイクのカバーは、防災製品を使用しましょう。

※屋外の暗くて人目に付きづらい場所には、人感センサーライトの設置がおすすめです！